

- 1 校内読書感想文・感想画コンクールについて
・青少年読書感想画全国コンクール（自由応募）



①対象図書

自由読書・・・雑誌、教科書、副読本、読書用テキスト、海外出版物、指定図書を除く

指定読書・・・「100年の木ノ下で」 杉本りえ 著：佐竹美保 画：ポプラ社
「ヒトラーと暮らした少年」 ジョン・ボイン 著：原田勝 訳：あすなろ書房
「キツネのパックス：愛をさがして」 サラ・ペニーパッカー 著：
ジョン・クラッセン 絵：佐藤見果夢 訳：評論社
「極北へ」 石川直樹 著：毎日新聞出版
「正義の声は消えない：反ナチス・白バラ抵抗運動の学生たち」
ラッセル・フリードマン 著：渋谷弘子 訳：汐文社

②用紙・画材 用紙は、画用紙・ケント紙・キャンバスボード・マニラ紙・ボール紙いずれでもよい（ワク貼りキャンバス不可）。絵の具は、クレヨン・パステル・水彩・油絵具など自由。版画・はり絵もよい。

③寸法 36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下の大きさとする。

④校内提出締切 12月17日（月）

- ⑤注意事項
- ・未発表作品であること。
 - ・作品ごとに裏面に応募票・作画感想（200字以内）をつけること。
 - ・応募作品の著作権は・出版権は主催者に帰属し、応募作品は返却しない。
 - ・地区予選を行いますので、個人による大会本部への直接応募はできません。

※ 第30回読書感想画中央コンクール正式ホームページ {<http://www.dokusyokansoubun.jp/kansouga/>}

審査基準

- (1) 募集要項にあっているか
- (2) 発達段階に応じた適切な本を選んでいるか
- (3) 読書の感動が表現されているか
- (4) 作品の語っているものや、著者の論旨を的確にとらえているか
- (5) 発達段階に応じた読書の感想が表現されているか
- (6) 発達段階に応じた適切ですぐれた表現であるか
- (7) 独創的で個性的な表現であるか
- (8) 自分の力量で描いているか



☆ 芸術・文化研究・アニメーション部・同好会、また作画・イラスト・アニメなどを好きな人・趣味でしている人の応募も期待しています。

2 読書感想文などの作成について

- ・「いやいや」やらされ感覚ではなく、自ら積極的に読書感想文を書くことを通して、人間的な成長の証を獲得しよう！
- ・試行錯誤し、読書感想文を書き続けていくことにより、自分の目標達成能力の自己評価を高くすることができます。
- ・同じ本を時期を変えて何度も読み返すことで、新たな発見があり、自己の成長も確認できます。
- ・興味があつたり、専門とする分野の本を多数読むことにより、その分野の見識を深めることができます。
- ・できる限りいろいろな分野の本を読むことで、多方面への見識を広めることができ、その先には高い視点でものごとを把握することができるようになります。

① コンクールの意図と構造を理解しよう。

主催者が違うとコンクール事業の趣旨も異なります。

読書感想文や読書感想画コンクールでは、読む本の種類によって二つの区分に分かれます。

前者は自由読書で、フィクションやノンフィクション等分野を問わない。後者は課題読書です。

② 本の決定なら課題図書が1番です。

但し、どうしても書きたいテーマがあれば課題図書でなくても構いません。

課題図書は出たばかりの本であることが多いので、応募作文の中で優れていれば入賞の可能性が高いです。一般に、課題読書を敬遠したり本を購入できなかつたりで、自由読書の方で応募する生徒が多いこともあり、選考を通過するには有利です。

→逆に、難しいのは有名な作家の作品。ネット上などにいくらでも「感想文例」があるので、それらと比較され、選ばれるには既知の感想文よりも優れたものを書かないといけません。(丸コピーや部分コピーは、直ぐ見破られる。間違っ選考された場合、おおごとになり、良い作品を書いている人が選考漏れで迷惑を被ることになります。更に、選考に携わる全関係者に要らない時間と労力を使わせることになります。結局、自分の信用を無くし、品位を下げ、家族にも影響を及ぼす結果となります。)

③ 理想の自分として、人格設定をしてからにしよう。(読む前からですよ。)

批評・評論文を書くのが目的ではありません。高校生としての作文です。つまり、自分がいかに理想的な高校生であるかを主張する必要があります。自分が理想と考えている高校生の読書感想文を書くようにしよう。そうすると、一人で書いていても第三者から見た様に客観視し、作文全体を静観・吟味することが出来ます。

④ さあ本文を書きましょう。

作品のあらさがしや批評ではなく、自分に関して、今の生活や悩み、将来の夢・希望、社会への関心などを自分の課題として決めた本に関係づけて書き出す。

⑤ 押さえるべき点(ポイント)は?

結論だけではなく、考えの変遷(過去に読んだ時の感想、読み進む中での感情の変化)や思考途中の道筋も大切です。

「引用」を極力しないようにする。行数・字数稼ぎと取られるかも知れません。

「行動」を含めてみましょう。読んで考えた後で、ある行動をしたら、自分の生活や世界がどう改善されていったかを成果として書き込む。つまり成長した事が一番重要です。

初歩的な間違いは、厳禁です。(誤字、脱字、字下げ、段落分け、作文の作法上の間違いを無くすこと)

⑥ 学校の先生の助言・添削をお願いしてみましょう。

夏休み中に書き上げて、指導をしていただきましょう。担当の先生を自分の味方にして、読書感想文の作成・推敲を通して、人間的に成長することを目指しましょう。

⑦ 読書感想文コンクール「受賞」という結果を活用し、自己推薦やAOで某大学に入学した人もいます。

就職試験の面接の時に、胸を張って、「私は、作家〇〇さんの作品□□を読み、△△の箇所に感銘し、〜と考え、・・・した時、・・・と言う経験をし、・・・と言う教訓を得ることが出来ました。」と言えます。

⑧ 秋のこの時期、冬休み、春休み、などの夏休みの時期でない時に、読書感想文を自ら今書こうと決めて興味・関心をもって、どんなことが書いてあるのかな?どんな感情が湧いてくるのかな?感情や気持ちがどんな風に変化するのかな?思考レベルがどれだけ向上するのかな?等想いを馳せながら読みながら気づいた点をメモって置きましょう。(お笑い芸人さんのネタ帳の様に、書き溜めておくのも素晴らしいことです。)

⑨ 読書感想画に於いては、用紙や画材の選択の自由度が高く、百円均一の店でも売られています。また、対象図書にも制限が殆どないので、過去に印象深かったものなら何でも選択肢に入れることができます。また、教科書や雑誌でもOKです。

☆ 読書感想文作成へのヒント!

文章としてまとめるうえで、構成要素を準備する必要があるので、先ずは次にあげる項目を順に書き出ししてみましょう。

1.この本を読むことに決めたきっかけや理由

2.ほんのあらすじや概要説明、補足説明

3.作者が伝えたいと意図している内容は?

4.印象に残った部分(何か所でも)や感銘を受けた箇所の紹介

5.前記4.についての自分の意見や感想

6.読後に得られたこと、為になったこと、今後に生かせそうなこと、感謝、反省、改善点、誓い、等

